

## 「情報発信に理解深める」

### 神戸市在住の留学生と「神戸新聞社本社見学会」開催

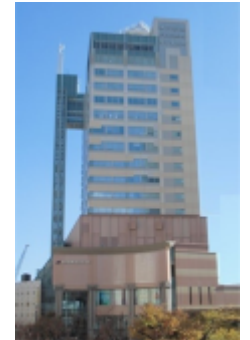
関西支部事務局

2022年11月15日(火)留学生7名と会員4名、事務局2名、神戸大学の先生1名の計14名で、日本の企業や社会を学ぶ活動の一環として、「神戸新聞社本社見学会」を開催しました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクの着用、受付時に検温と消毒に協力していただきました。また、無線ガイドシステムを利用することにより、ソーシャルディスタンスの確保、説明時の飛沫(ひまつ)防止を図りました。また神戸新聞社内は見学することはできませんでしたが、動画やパソコン画像で説明を受けました。

はじめにビデオ「神戸新聞ができるまで」を視聴。編集局フロアでは、各部署に仕切りがなく、情報を共有しながら紙面を組み上げる工夫などを学びました。

報道展示室では阪神・淡路大震災直後の報道について耳を傾け、当初は被害の大きさを伝える記事ばかりでしたが、希望が持てる記事や避難所生活情報を増やし、被災者を勇気づけたことや、現在も続けている防災を啓発する報道にも関心を寄せました。



神戸ハーバーランドにある神戸新聞社本社



参加した留学生からは、「企業の皆さんが時間を守りながら思いを持って仕事されている様子が伝わってきた。」との感想があり、「記者になりたい」と言っていた人にとっては、大変参考になったのではないのでしょうか。

また、神戸と震災、あるいは災害と新聞記者という観点でも、学びが得られ、日本社会への理解が深まったかと思えます。